



糖尿病・内分泌内科

診療科の概要

糖尿病をはじめとする内分泌代謝疾患を中心とした内科診療を行っています。

外来では、血糖とHbA1cを迅速測定し、過去のデータと一緒にグラフ化して患者さんに示し、治療のアドバイスをしています。

入院では、重症および急性期の診療、糖尿病教育のいずれにも対応しており、治療方針の決定・血糖コントロール・合併症の検査・栄養指導、糖尿病教室などを行います。日本糖尿病学会認定教育施設に指定されており、糖尿病専門医を中心に、看護師・栄養士・薬剤師・臨床検査技師などとチーム医療で糖尿病の診療に取り組んでいます。

また、甲状腺・脳下垂体・副腎などの内分泌疾患に対しても、急性期および慢性期の入院・外来診療を行っています。

脳梗塞の急性期診療および基礎疾患に対する治療を、脳神経外科・リハビリテーション科などとの協力のもと、積極的に取り組んでいます。



糖尿病・内分泌内科への ご紹介は…



外来診療担当医師

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----------------------|----------------|---------------|---------------|----------------|---------------|
| 午前 8:00~ 11:30 | 村林 高安 田村 | 村林 黄 田中 | 村林 黄 田村 | 村林 尾崎 田中 | 田村 黄 田中 |

糖尿病・内分泌内科 医師のご紹介



たなか ひかる
部長 田中 光



資格

- ・日本内科学会総合内科専門医
- ・日本消化器病学会専門医
- ・日本糖尿病学会専門医
- ・日本プライマリ・ケア連合学会
- ・認定指導医



専門分野
内科



むらばやし まさや
副部長 村林 公哉



資格

- ・日本内科学会認定内科医



専門分野
糖尿病



たむら あゆみ
医師 田村 亜由美



専門分野
糖尿病



こう せいこ
医師 黄 星子



専門分野
糖尿病



ご連絡はこちらへ
(地域医療連携室)

☎ 017-734-2171 (内線7124・5110)

☎ 017-734-2177

✉ a-shimin-renkei@aomori-city-hospital.jp

ヤングパワーで 積極的な診療を！



当科の常勤医は4名で、40代1名、30代1名、20代2名、平均年齢は34.8歳です。弘前大学第三内科の伝統である、アカデミックに深く考える姿勢と、平等で民主的な体制を基本に、若いメンバーならではの活発で積極的な診療を心がけています。

慢性疾患および急性期疾患に 数多く携わる外来・救急診療

外来では、糖尿病をはじめとする生活習慣病および内分泌疾患の診療に携わります。

当院では、糖尿病の合併症に関して多くの専門診療科に精密検査および治療を迅速に依頼することが可能であり、私どもも他の診療科からの依頼を受けて基礎疾患に対する専門的な診療に多く関わります。他の診療科と連携しつつ多角的な診療を行うことができるのは、総合病院ならではの特徴かつ利点であると考えます。



直近1年間の1日あたり平均外来患者数は84名でした。

当科は、脳梗塞をはじめとする内科救急診療にも多く携わります。その他、糖尿病に関わる救急診療として、低血糖昏睡・高血糖昏睡・重症感染症などの診療を行っています。

昨年度、当科での救急車受け入れ台数は451件で、院内では整形外科に次ぐ2番目の多さでした。



◀糖尿病教室の様子

糖尿病教育から重症合併症まで 幅広く対応可能な入院診療

当科の入院症例は、重症糖尿病・インスリン療法導入・術前血糖コントロールなどが主体ですが、合併症の進行例・感染症・内分泌疾患なども多く担当しています。脳梗塞急性期診療においても、脳神経外科・リハビリテーション科をはじめとする他の診療科との迅速かつ的確な連携を行っています。糖尿病をはじめとする生活習慣病のみでなく、他の疾患にも留意し、患者さんに対する多角的な診療を意識し実践するよう心がけております。

直近1年間の1日あたり平均入院患者数は34名で、症例の内訳は下表のとおりでした。

直近1年間の当科入院症例

| | |
|--------------|------|
| 脳梗塞 | 115例 |
| 糖尿病教育・コントロール | 92例 |
| 糖尿病合併症 | 86例 |
| 肺炎 | 78例 |
| その他感染症 | 62例 |
| 新型コロナウイルス感染症 | 35例 |
| 内分泌疾患 | 22例 |
| 悪性腫瘍 | 18例 |
| 神経疾患 | 17例 |
| 敗血症 | 9例 |
| 低血糖 | 9例 |
| その他の疾患 | 62例 |